

〔国際会議開催〕

申請者	一般社団法人サイバーディフェンスイノベーション機構 理事 井手 達夫	2255001
国際会議名	CYDEF2025	
会議ホームページ URL	https://2025.cydef.net/about_cydef2025/	
開催期間	2025 年 12 月 9 日～2025 年 12 月 31 日（アーカイブ配信期間を含む）	
会場名称	イイノホール & カンファレンスセンター	
会場住所	東京都千代田区	
開催形式	オンサイト及びオンデマンド（アーカイブ配信）	
申請者の役割	事務局長	

〔国際会議の概要〕, 〔開催の目的・意義と得られた成果・効果〕

CYDEF2025 は、サイバーディフェンスに関する知見を国内外で共有することを目的として開催された国際会議である。国内外の研究機関・政府関係者・軍関係者・産業界・学术界が一堂に会し、研究発表と議論を重ねることで、サイバー・情報保障分野における最新動向の共有と、専門家ネットワークの強化を図るとともに、その重要性を国際社会および一般に広く発信することを目的としている。

今回の CYDEF2025 では「未踏領域へ：危機を力に変える挑戦（The Next Frontier - Turning Crisis into Opportunity）」をテーマに、12 月 9 日～10 日、東京都千代田区のイイノホール & カンファレンスセンターでオンサイトイベント、その後 12 月 15 日～31 日オンデマンド（アーカイブ配信）を実施した。22 か国 68 名の登壇者と、16 か国 563 名の聴講者が参加し、日本の関係省庁代表者を交えたプログラム委員会のもと、7 つの主要テーマに関するパネルディスカッションを中心に構成された。

主たる成果として、能動的サイバー防御（ACD）、サイバー・イノベーション・ハブ、重要インフラ防護、認知戦、宇宙・電磁戦、量子技術を含む破壊的イノベーション、人材育成という 7 分野において、各国の実務経験と戦略的視点を踏まえた多角的な議論が行われた点が挙げられる。サイバー脅威が単独の技術課題にとどまらず、認知・宇宙・電磁といった複数領域に連関する複合的脅威へと進化している現状が共有され、サイバー安全保障を国家戦略として統合的に捉える必要性が改めて確認された。

特に、今回初めて本格的に実施した机上演習（TTX）は、政府・防衛側に加え重要インフラ事業者の視点を取り入れた設計とすることで、ACD における情報共有や意思決定の実態を体験的に理解できる機会を提供した。延べ 43 名が参加し、制度理解にとどまらない実務的・教育的効果が確認されるなど、今後の人材育成・訓練分野への発展可能性を示した点は大きな成果である。

また、企業展示・発表については、専従のマーケティング責任者の配置と新たな施策導入により、来場者との接点が大きく改善され、産業界と政策・研究コミュニティの交流促進に寄与した。さらに、Bloomberg や The Japan Times をはじめ、海外の安全保障関連機関にも取り上げられるなど、国際的

な発信力の面でも一定の成果を上げた。

以上のとおり、CYDEF2025 は、サイバー安全保障を巡る国際的・実践的対話の深化に大きく貢献するとともに、教育・訓練、人材育成、産学官連携の面においても具体的な成果を挙げた。得られた知見と経験を基盤として、今後も CYDEF を国際的な知的ハブとして継続・発展させていく所存である。



カンファレンスの状況